

プレスリリース

2015年5月12日



◆2014年度、ネット決済代行サービス全体の市場規模は、1,518億円。2015年度も高成長が続き前年度比116.7%、1,772億円へ拡大。2015年度以降、2019年度までの年平均成長率14.9%増で推移し、3,000億円超まで成長する見通し。

情報・通信、アウトソーシング分野専門の市場調査機関である株式会社ミック経済研究所(本社:東京港区、社長:有賀 章、以下ミック)は、国内におけるEC(電子商取引)のネット決済代行サービスを対象とした「**ECにおけるネット決済代行サービス市場の現状と展望 2015年度版**」を発刊した、と発表しました。

同マーケティング資料は、国内におけるネット決済代行サービス事業者を対象に、各社のネット決済代行サービス売上及び市場の動向について調査しています。本調査では、各社の売上実績および予測値を、契約形態別、決済手段別(クレジットカード、コンビニ、電子マネー、ネットバンク、モバイルキャリア、振込/ATM、国際決済など)、商品カテゴリ別(物販、デジタルコンテンツ、サービス、公金・公共料金)といった観点から集計・分析しています。また、各社の動向を積み上げ、2019年度までのECにおけるネット決済代行サービス市場の中期予測をしています。

<ECにおけるネット決済代行サービス市場トレンド>

今回の調査では、国内のEC(電子商取引)におけるネット決済代行サービスを提供している企業を対象に調査を行っています。本調査によるとネット決済代行サービス市場規模は、2014年度で151,800百万円、2015年度で前年度比116.7%の177,200百万円となる見込です。

(図表①、②参照)

経済産業省の「平成25年度我が国経済社会の情報化・サービス化に係る基盤整備(電子商取引に関する市場調査)」によると、日本の消費者向けEC市場(BtoC)規模は、2012年9兆5,130億円で、それと比べると2013年は前年比117.4%の11兆1,660億円に拡大し、2012年の前年比112.5%増の伸びを上回る好調な伸びを示しています。EC化率⁽¹⁾も2012年3.11%から2013年3.67%へと0.56ポイント(増加額1兆6,530億円)上昇しています。アクセサリー小売業、医薬化粧品小売業、宿泊・旅行業、飲食業などが大きく伸び、順調な市場規模拡大傾向が続いています。調査時の2013年は、東日本大震災直後の2012年に比べると、国内の消費も回復基調にあったものの個人向けの店頭小売・サービス業の大幅な伸びは見られなかった中で、国内EC市場

⁽¹⁾ 全ての商取引における、電子商取引(EC)による取引の割合で、小売業・サービス業における値(割合)を指す。

は順調な利用者の増加と、利用者の年間のEC利用額が増えていることが主な要因となっています。またスマートフォンやタブレット端末といった手軽にインターネットに繋がるデバイスの普及もオンラインビジネスの活性化に繋がっており、消費者にとってECをより身近なものにしています。

また企業に限らず個人でも簡単にECサイトを立ち上げることができるサービスや2013年末から始まったYahoo! ジャパンの出店無料化などの影響などにより、ECに新しく参入する事業者や個人も増えています。更にEC専門の中小規模ショップだけでなく、ECサイトと実店舗の両方を持つ事業者や直接消費者に販売するメーカー直販サイトなど、実店舗に加えてネットも重要な販売チャネルとして注力する企業が増え、ネット決済代行サービス事業者にとっての顧客が増えています。その他にもカタログ通販やテレビ通販などの従来型の有力通販企業がECに注力するようになっており、益々ECでの取引が増加する傾向が続いています。

有力企業のECへの参入と新しいECショップの増加は、多くの中小規模のショップにとっては、競争がより激しくなる原因となっており、売上規模拡大と利益確保のために今まで以上の固定費削減が課題となっています。そうするとネット決済代行事業者は手数料率やトランザクション処理料、月額固定費などの値下げ圧力が高まり、近年はEC事業者だけでなく決済代行事業者同士の価格競争も激しさを増しています。

国内EC市場の競争激化を背景にネット決済代行サービスを提供する各社は、アジアを中心に海外での決済代行サービスの展開や実店舗(対面販売)向けの決済ビジネス展開など、ビジネスの領域そのものを広げる動きも目立ってきています。また決済を中心として集客支援や請求管理など、EC事業に付随する付加価値サービスに注力する企業も増えてきています。

激しい競争の中で今後も国内のEC市場は好調な伸びが続き、EC化率の更なる上昇が見込まれ、ネット決済代行サービス市場も高成長が続くと予測されます。2015年度から2019年度まで平均成長率14.9%で推移し、2019年度には3,045億円の市場規模になると予測されます。

なお、資料の体裁は A4版291頁のファイル製本で、価格はハードコピー版で190,000円(消費税別)です。(CD-ROM 版380,000円もご用意しております。)

報道関係からのお問い合わせは以下の担当にてお願いいたします。

| |
|--|
| 株式会社ミック経済研究所 東京都港区芝 4-7-8 芝サンエスワカマツビル 10F 担当：熊谷幸紀 TEL：03-5443-2991 FAX：03-5443-2994 E-mail： ykumagai@mic-r.co.jp URL： www.mic-r.co.jp |
|--|

<図表①> ネット決済代行サービス市場規模推移

(単位:百万円)

| | 2012年度 | 2013年度 | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
|------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| ネット決済代行サービス市場 | 117,900 | 132,500 | 151,800 | 177,200 | 205,300 | 235,900 | 268,900 | 304,500 |
| 前年度比 | - | 112.4% | 114.6% | 116.7% | 115.9% | 114.9% | 114.0% | 113.2% |
| 平均成長率('15-'19年度) | - | | | 114.9% | | | | |

<図表②> ネット決済代行サービス市場規模推移(グラフ)

